

科目名	保育原理					単位	2.0
担当教員	平野 仁美						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1515

●授業のテーマ

保育の「根幹」「本源」について学び、自己の目指す仕事の意味を知る。

●到達目標

「保育原理」は、保育者養成カリキュラムにおいて、保育の他の科目とどういうところにつながっているのかを学ぶ大変重要な科目です。

保育の意義・基本・内容と方法・歴史的変遷について理解を深めることで、保育者としてのアイデンティティを高めていくことや保育の現状と課題について考察する。

●学習内容(授業概要)

保育は、主に乳幼児を保護・養育し、より望ましく育成する営みである。保育は、さまざまな場でなされるが、本講では保育所における保育に重点をおいて、保育の意義、保育の基本、保育の目標と方法、保育の思想と歴史的変遷、保育の現状と課題について講じる。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーション(授業の進め方・保育への認識について等)
2. 保育の基盤1～6
3. 保育の意義
4. 保育思想と歴史的変遷(諸外国)
5. 保育思想と歴史的変遷(日本)
6. 保育の社会的意義と保育制度
7. 発達過程に応じた保育
8. 保育における計画と環境No.1
9. 保育における計画と環境No.2
10. 保育における計画と環境No.3
11. 諸外国の保育No.1
12. 諸外国の保育No.2
13. 日本の保育の実践No.1
14. 日本の保育の実践No.2
15. 日本の保育の課題

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：授業内容に関する教科書や配布資料等を読んでおくこと。  
 事後学習：今回の授業でわかったこと、気付いたこと、疑問に思ったことを指定用紙にまとめておくこと。

●成績評価方法・基準

- ・筆記試験(50%)
- ・学びまとめノート(20%)

- ・ 学びの振り返り（15%）
- ・ 授業態度（15%）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：「保育の基礎を培う 保育原理」2012年、著者名：関口はつ江編著、出版社：萌文書林、販売先：(株)Do、備考：最初の授業に間に合うようにお願いします。

●参考文献／その他

加藤繁美「子どもと歩けばおもしろい」2010年（株）ひとなる書房

大宮勇次「学びの物語の保育実践」2010年（株）ひとなる書房

川原佐公・古橋紗人子「赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力」2010年保育出版社

※その他適宜授業の進行に応じて指定する。

●履修上の注意

授業での意欲的な取り組みを期待します。

グループ活動を通して、コミュニケーション力を養います。自分の意見を持って参加しましょう。

受講生は、A4版ノートを準備して、学びを整理しましょう。